

～ 沖縄・日本から米軍基地をなくす草の根運動 ～

草の根ニュース

■住所(東京) : 〒150-0042
東京都渋谷区宇田川町19-5 山手マンション1001
■沖縄連絡先 : 池宮城紀夫(弁護士)
沖縄県那覇市樋川1-16-38 那覇第1法律事務所
■電話・ファックス : 03-3461-5758 090-4175-2010(平山基生)
■メール : kusanone@world.ocn.ne.jp
■ホームページ : http://www.kusanone.org
■郵便振替口座 : 00190-5-611535 (カンパ随時大歓迎)

7月参院選 96条改憲阻止諸党は3分の1を!

民意に反する自民・維新などによる憲法96条改憲を阻止しましょう

昨年12月の総選挙では、米軍基地をなくす勢力・政党は、共産党8議席、社民党2議席へ後退しました。基地を永久保持する政党あるいはそれに近い政党は、自民党が294、民主党が57、維新の会が54、公明党が31、みんなの党が18、国民新党が1、新党大地が1です。未来の党9議席、諸派・無所属5議席の米軍基地に対する態度は不詳です。

自民党安倍総裁は、総選挙直後の12月17日さっそく「日本維新の会、みんなの党とは、基本的に憲法96条改正で一致できる」と述べました。衆議院の場合、これら3党合計で366。憲法改正発議できる3分の2=320を超えます。(定数480)

参議院の場合、自民党83、みんなの党11合計で94(維新の会はありません)、これに、たちあがれ日本・新党改革5、国民新党3の合計8を足して102となります。民主は107です。参議院定数242人の3分の2は161です。参議院で民主が自民に同調すれば、たちまち161を超えます。3分の1は81議席です。96条改憲反対の1点で一致する諸党、議員で81超を必ず獲得しましょう。

小選挙区制は、民意を反映しません。東京新聞一面トップは「全有権者で見る

と、自民党は小選挙区で24%、比例代表では15%」です。自民党は民意を反映しない議席で、国の基本法である、憲法改正を国会に提案するべきではありません。

安倍内閣には、憲法擁護義務があります。自民党は、まず、抵抗が少ないと思っている憲法96条を改正し今国会議員の3分の2以上でないとは改憲出来ない規定を、2分の1で改憲できるように改憲しようとしています。今私たちは、これを絶対に阻止することが重要です。

日本国憲法 第9章 改正 第96条

この憲法の改正は、各議院の総議員の3分の2以上の賛成で、国会が、これを発議し、国民に提案してその承認を経なければならない。この承認には、特別の国民投票又は国会の定める選挙の際行われる投票において、その過半数の賛成を必要とする。(後略、公布方法)

そのためには今年2013年7月の参議院選挙で96条改憲反対諸党が3分の1を占めることです。憲法前文と9条を改正しようと言う企みを何としても阻止しなければなりません。そのためには、憲法96条改正で国会の憲法改正発議条件を3分の2から2分の1にゆるめる政党が3分の2以上をとることを何としても阻止することです。いろいろな政策の違いは乗り越え、96条改憲反対で一致する諸党、議員が、

81議席を超えることは不可能ではありません。

米軍永久日本占領に道を開く安倍改憲を
何としてでも阻止しましょう

もし、自民党などの96条改憲案がとおり、次に憲法前文と9条、また基本的人権条項などが改正される危険性が非常に高まります。そうすれば、米軍はあと百年でも2百年でも永久にでも居座るでしょう。これほど日本の歴史に汚点を残し、恥ずべき国を子孫に残すことはありません。また、封建時代に戻るような、国民主権を天皇主権に変えるに等しい自民党の改憲案（実は「米国の押しつけ改憲」）に道を開く、憲法96条改正阻止を何としてでもやり遂げなければなりません。

まとめてみましょう。

第1に今回の衆議院選挙での自民党の議席は、全く民意を反映していないこと。

第2に、自民党は、96条改憲という迂回作戦をとって9条改憲はもとより憲法全面改悪

を企んでいること。自民の改憲案が若い人を戦場に送る事になり、米軍の日本永久占領になることを急いで国民皆に知らせること。

第3に、これを阻止するために7月の参議院選挙で96条改憲に反対する政党議員を増やし、96条改憲反対の一点で諸党が共同し必ず3分の1（81議席）以上を獲得すること。

第4に、これほど民意をゆがめる小選挙区制度そのものをやめる世論をおこすこと。

第5に、9条の会の活動を飛躍的に高め広め、日本全国7500の「会」が世論を作るために立ち上がること。草の根運動は「基地なくす9条の会」との連携を強めること

第6に、96条改憲を阻止するために、市民運動、労働組合運動だけでなく、基地をなくす政党をはじめとして、諸政党がこの一点で団結すること。

力を合わせ、この歴史的危機に立ち向かい死に物狂いで、しかし悠然と頑張りましょう。（以上）

安倍内閣は遂に日本国民の命である「戦争放棄」(憲法第2章)を放棄して「安全保障」と改め、基地はそのままで米軍のための「国防」?軍を持つという「改憲」案を作成、迂回して憲法96条改正から9条改憲実現を狙っています。嘘の「安全保障」条約という米軍永久居座り条約で、現在日本・沖縄は歴史上初めて外国軍に極端に長期に半占領され続けています。オスプレイ配備訓練強行はその実例です。

来年2014年は、モンゴル襲来740周年。1274年、1281年と日本は蒙古軍と戦い、元(げん)の属国になりませんでした。その後1945年まで外国軍の占領をただの一度も許したことはありません。今、日本には歴史上初めて外国軍である米軍が駐留し続けています。違憲の米軍駐留条約を破棄し、真の独立・中立国へ、国民による真の政権交代を実現する為に、国民は今、団結して立ち上がる時です！（2013年2月）

米日政府は、沖縄県民国民の猛反対を押切り、世界一危険なオスプレイを世界一危険な普天間基地に配備強行、全日本で低空飛行訓練！
嘉手納基地にも配備を計画。
何が「安全保障」条約？ 半占領条約です！
民族抑圧これこそ、基地提供日米条約の実態！
日本人は米国の野生動物以下ですか！
沖縄県民・日本国民は泣寝入りしません！
安倍改憲は、この米軍駐留を永久化し、日本を属国として、米国の世界支配のための戦争に、自衛隊を「国防軍」と称して、海外派兵する道を開きます。